

福井市学校版環境ISO 実施計画書

福井市長 様

私たちの学校は、恵み豊かな環境を守り未来に引き継いでいくために、環境保全に関する学習、教育及び活動を積極的に行って環境にやさしい学校づくりと生命や自然の大切さを理解し郷土を愛するモラルの高い児童生徒の育成に取り組むための実施計画を作成しましたので、福井市学校版環境ISO認定制度による認定の更新を申し込みます。

令和 6年 6月 3日

学校名 中藤小学校

校長氏名 勝木 孝一

1 今年度の目標(学校の約束)

- ① 中藤島地区の環境、地球環境、エネルギーについて学習します。
- ② 学校で節電、節水、ゴミの分別、ゴミの減量に努めます。
- ③ 地域と連携し、資源回収に進んで参加するよう努めます。

2 取組内容

① 環境学習

- ・中藤島地区の環境や地球環境について調べ活動を行います。
- ・自分たちの学校の太陽光発電について調べ、これからのエネルギーについて考えていきます。

② 節電・節水，ゴミの分別，ゴミの減量

- ・環境委員会が、自校の節電・節水の現状について理解し、節電・節水の大切さを全校に呼びかけます。
- ・校内のゴミの分別について調べ、全校に分別の大切さを呼びかけます。
- ・自分たちが率先して学校生活に活かしていきます。

③ 地域と連携した分別回収

- ・アルミ缶や古紙の回収を PTA や地域と連携して呼びかけます。

★ ESDポイント(取組内容の内、1項目についてESDの視点をどのように取り入れるかを記載してください。)

- ①について、環境学習では、人間と環境との関わりに関するものと、環境に関連する人間と人間の関わりに関するものの両方の視点から学習しました。(相互性)
- ②ゴミの分別や減量については、環境委員会が全校に向けて啓発するとともに、全校児童一人一人が主体的に活動できるように工夫する。(進んで参加する態度)

福井市学校版環境ISO 実施報告書

学校名 福井市中藤小学校	
1 今年度の目標（学校の約束） ① 中藤島地区の環境、地球環境、エネルギーについて学習します。 ② 学校で節電、節水、ゴミの分別、ゴミの減量に努めます。 ③ 地域と連携し、資源回収に進んで参加するよう努めます。	
2 取組内容 ③ 環境学習 ・6年生は、中藤島地区の環境や地球環境について、道徳や外国語の授業を通して、絶滅危惧種について学びました。また、絶滅危惧種が直面している問題点を調べたり、自分たちにできることを考えたりしました。 ・5年生は、社会や総合の時間を通して、水質汚染や再生可能エネルギー、地産地消について学習しました。 ④ 節電・節水、ゴミの分別、ゴミの減量 ・環境委員会が、自校の節電・節水の現状について理解し、節電・節水の大切さについてポスターなどを通して、全校に呼びかけました。 ・校内のゴミの分別について調べ、全校に分別の大切さを呼びかけました。	 
★ ESDポイント （取組内容の内、1項目についてESDの視点を取り入れたポイントを記載して下さい。） ①について、環境学習では、人間と環境との関わりに関するものと、環境に関連する人間と人間の関わりに関するものの両方の視点から学習しました。（相互性）	
3 成果	【具体的効果】 ①世界の環境問題や身近なところで行われている環境についての取り組みについて調べることで、環境問題と自分たちとの関係性を見つめ直し、自分達が環境問題に対してできることを考えるようになってきました。 ②各学級で節電や節水、ごみの分別などの意義を考え、実践することで、環境に対する意識が育ってきています。 【改善点】 ・学校での学びを、家庭生活でも生かすことができるような具体的取り組みをしたいです。 ・5、6年生の学びを全校児童にも伝える機会をもう少し増やすことで、全校的に関心をもち、意識の向上を図れるようにしたいです。

